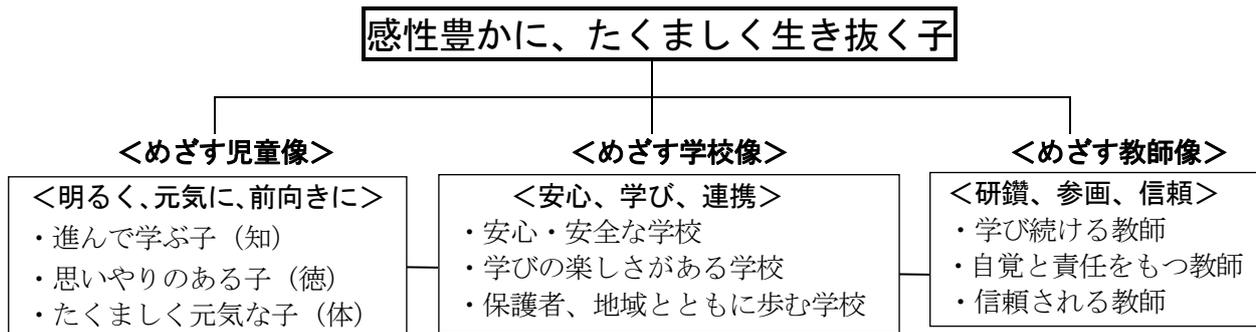


【教育目標】

感性豊かに、たくましく生き抜く児童の育成



【学校経営方針】

（１）「安心」のある学校づくり

- ①共感的な態度や望ましい人間関係づくりの推進（元気でさわやかな挨拶ができる児童）
- ②自分を見つめ、他者を理解する道徳教育の充実
- ③想定される危機に対しての組織的な対応（感染症、食物アレルギー、不審者、災害等）
- ④児童理解に基づく生徒指導体制の充実、保護者及び関係機関との連携
- ⑤体力・運動能力アップの推進

（２）「学び」のある学校づくり（学力の定着と向上）

- ①教師の指導力の向上（自ら学ぶ、みんなで学ぶ授業づくり）
 - ・共通実践による学力向上ロードマップ、学力向上プランの着実な実施（チーム会の充実）
 - ・「GIGA スクール構想」に向けた ICT 機器の効果的な活用（効果的な活用の交流）
 - ・見取りと支援による少人数を生かした学習指導（教え合い・学び合い・学習リーダー・一人一台端末の効果的活用）
 - ・補充学習・個別指導によるきめ細かな指導の推進
- ②学びの姿勢の向上
 - ・同学年、異学年児童の交流（縦割活動・ノートツアー等）による学習意欲の向上
 - ・学習規律の徹底（全校での確認）による学び合う学級づくり
- ③家庭学習の充実
 - ・学習内容の定着（復習）や授業（予習を生かす）と連携した家庭学習の推進
 - ・保護者との連携や個への支援（個に応じた学習）による家庭学習の改善

（３）「連携」のある学校づくり（学校、家庭、地域の役割と協力）

- ①児童の育ちの共有化による、家庭、地域との連携（便り、HP、学校評価等）
- ②地域人材等の活用、地域から学んだことを地域に返す学習活動の推進（住み続けられるまちづくり）
- ③「早寝、早起き、朝ご飯」による生活習慣の形成と健康教育の推進
- ④小中連携による教育活動の充実
- ⑤家庭や地域の関係機関と連携した安全意識、防災意識、規範意識の向上

（４）人材育成と業務の改善

- ①個々の経験や知識を生かした学校全体での人材育成
- ②校務分掌による専門性の向上とOJTを活かした人材育成の実施
- ③勤務時間の意識と協力協働での、業務の効率化、平準化の推進（児童と向き合う時間の確保）